ASEAN
東南アジア諸国連合

ASEANの世界遺産

カンボジア

C-1：アンコール遺跡群
約400km²にわたる森林に遺跡群が点在しています。有名なアンコールワットをはじめ、アンコールトムのバイヨンなど、無数のレリーフが施された、9世紀から15世紀までのクメール帝国時代のすばらしい遺跡が広がります。

C-2：プレア・ヴィヒア寺院
カンボジア平野に広がる台地に位置するプレア・ヴィヒア寺院は、ヒンドゥー教のシヴァ神に捧げられた寺院で、いくつかの祠堂が舗装された路や階段で連なっています。9世紀にヤショーヴァルマン1世によりつくられ、11世紀前半に改修されました。

C-3：サンボープレイクック
この遺跡群は6世紀後半から7世紀初期に栄えた、チャンラ王国の首都のイーシャーナプラとされています。25km²の範囲に及ぶ都市跡は、城郭都市の中心と数々の寺院を含みます。

インドネシア

I-1：コモド国立公園
コモドの火山島には、巨大なトカゲ、コモドオオトカゲが生息しています。その独特の風貌と獰猛さからコモド・ドラゴンとも呼ばれるこのトカゲは、この島とインドネシアのいくつかの島にしか生息しておらず、遺伝論の研究者たちに注目されています。

I-2：ウジュンクーロン国立公園
ジャワ島の最南西端、スンダ陸棚の上に位置するこの国立公園は、ウジュンクーロン半島やその沖合いに浮かぶいくつかの島、またクラカタウ島を擁します。すばらしい自然や、特に内陸火山を知る上で重要な地質学的特色に加え、ジャワ平野最大の低地熱帯林が残っています。

I-3：ボロブドゥール寺院遺跡群
8世紀から9世紀にさかのぼるこの寺院は、5段の正方形がピラミッド状に重なった土台の上に3段の円壇、最上部に大きなストゥーパがあります。壁と柱には浅浮彫りがほどこされ、総面積は2,500m²に及びます。円壇にある72個のストゥーパの中には仏像がそれぞれ納められています。

I-4：プランバナン寺院遺跡群
10世紀に建設された、インドネシア最大の数地面積を もつヒンドゥー教寺院群です。その中心にはシンドゥー教の三大神、シヴァ、ヴィシュヌ、ブラフマと、それぞれの神に仕える動物を祀った計6つの堂がそびえ立っています。また回廊には叙事詩ラーマーヤナのレリーフが見られます。

I-5：サンギラン初期人類遺跡
1936年から1941年に行われた発掘調査で、この土地で初めて人骨化石が出土し、その後約50のジャワ原人（ピテカントロプス・エレクトゥス）などの骨が発見されました。約150万年前のものと見られ、サンギランは人類の進化を知る上で非常に貴重な遺跡です。

ラオス

L-1：ルアンパバーンの町
ラオスの伝統的な建物や都市の構造と、19世紀から20世紀にかけての植民地時代の当局による建物や都市構造がすばらしく融合した形です。その独特な街並みは保存状態がよく、ラオスとフランスという異なる二つの文化が調和していった主要な時期を例証しています。

L-2：ワット・プーとチャンパサック文化圏の関連遺跡
1,000年以上前に設計された遺跡群です。ヒンドゥー教における自然と人間の関係を表現するために、山頂から川岸を軸として寺院や祠、水道などが10kmにわたって幾何学的に配置されています。この一帯は5世紀から15世紀にかけて発展した地域で、主にクメール帝国時代のものです。

L-3：シェンクワン県の巨大石壺群 ―ジャール平原
ラオス中央部の高原に位置するジャール平原は、鉄器時代の葬儀に使用された2,100以上の巨大な石壺からその名前が付けられました。遺跡群には、紀元前500年から西暦500年までにわたり作られた大きな壺、石製の円盤、副次的な墓、墓石、採石場、そして副葬品が含まれています。

マレーシア

M-1：キナバル国立公園
ボルネオ島北部、サバ州にあるキナバル国立公園には、標高4,095mのキナバル山がそびえ立ちます。豊の豊かな熱帯低地帯や熱帯雨林に始まり、山地森林帯、亜高山草森林帯、低木帯、と標高に応じて幅広く植物が分布しています。

M-2：グヌン・ムル国立公園
ボルネオ島のサラワク州に位置し、多様な生態系とカルスト地形が見られます。52,864ヘクタールの中に17の植生帯があり、3,500種の維管束植物（シダ植物と種子植物）が生えています。2,377mのムル山の尖頭がそびえ、数ある洞窟のうち、4つが一般に公開されていて、ディア洞窟は世界最大規模。

M-3：マラッカとジョージタウン、マラッカ海峡の古都群
マラッカ海峡沿いに位置するふたつの歴史的な町、マラッカとジョージタウンは、500年間にわたり、マラッカ海峡の東洋と西洋の交易と文化交流の地として栄えてきました。アジアとヨーロッパの影響が、さまざまな形の複合文化遺産として見受けられます。

M-4：レンゴン渓谷の考古遺産
経度からレンゴン渓谷に位置し、2百万年近くにわたる初期人類の生活を伝える考古遺産です。同一の地域に人類が居住していた記録として最も長い遺跡のひとつであり、またアフリカ大陸以外で最古の初期人類遺跡といわれています。

ミャンマー

Mm-1：ピュー時代の古都群
エーヤワディ川流域にある、ハリン、ベイター、そしてシュリクシュトラの3都市を含みます。紀元前200年から西暦900年の間、1000年以上も栄えたピュー王朝を反映する遺跡群です。遺跡の中には、城壁、墓地、初期の工業生産跡や、ストゥーパ、今も部分的に残る城壁が見られます。

Mm-2：バガン
エーヤワディ川岸に位置し、仏教の装飾と建築の並外れた特徴を持つ神聖な場所です。敷地内には、数多くの寺院、仏塔、巡礼場所、そして考古学上重要な遺跡、壁画、彫刻があります。かつて、地域一帯を治める王朝の都だったバガンは、バガン文明最盛期のすばらしさを物語っています。

フィリピン

P-1：フィリピンのバロック様式教会
マニラ、サンタマリア、パオアイ、ミアガオにある4つの教会は16世紀後半のスペインによる建築の中でも初期のもので、中華系・フィリピン系職人がヨーロッパバロック様式を再解釈して建てた独特な様式です。

P-2：トゥバタハ岩礁自然公園
広大な面積を誇る公園には、ノース・リーフとサウス・リーフと呼ばれる礁があり、環礁には多種な海洋生物が生息します。北の小島には鳥類やウミガメの巣や産卵地があります。100メートルのドロップオフ、環礁でできた島や、ラグーンなど手つかずの環境様があります。

P-3：フィリピン・コルディレラの棚田
ルソン島北部山地帯に暮らすイフガオ族は2,000年もの間、山の斜面に棚田を作ってきました。イフガオ族の神聖な伝統や独特の社会高成分代々受け継がれた結果、人間と自然の調和を象徴するかのような美しい棚田が残されました。

P-4：プエルト・プリンセサ地底河川国立公園
高規ふしぎ石灰石のカルスト地形と地底川があり、この川は海に直接注ぎ込むため、下流では潮の影響を受けています。一帯は多種多様な生態の生息地となっており、山から海まで続く生態系を は じめ、アジアのなかでも最要な森林地を含んでいます。

P-5：ビガン歴史地区
16世紀に造られた町ビガンは、スペイン植民地時代に設計されたアジアの町の中でも最も保存状態がよく残されています。フィリピン、中国、ヨーロッパなどの様々な影響を受け、東アジア、東南アジアでも類を見ない独特な文化と街並みです。

P-6：ハミギタン山岳地帯野生生物保護区
多種な生物が生息するミンダナオ島にあるハジュア半島に沿って南北に広がるミンダナオ山脈は、絶滅危惧種を含む多数の動植物が生息しています。そのなかにはハミギタン山岳有種の8種や絶滅に瀕する野生動植物が含まれます。

シンガポール

S-1：シンガポール植物園
英国風コロニアル庭園から、教育と自然保護のための世界的な科学施設へと発展した植物園です。その景観には豊かな歴史的要素、植栽、建築物が含まれており、1859年の開園以降の発展が見てとれます。また、科学、研究、植物保全などの活動の重要な役割も担っています。

タイ

T-1：トゥンヤイ・ファイ・カ・ケン野生生物保護区
ミャンマーとの国境に60万ヘクタールにわたり広がるこの保護区は、東南アジア独特の生態系が非常に良い状態で残されている顕著な例であり、大型哺乳類（とくにトラと象）や大型鳥類をはじめ、多様な生物が生息しています。

T-2：古都スコータイと周辺の古都
13世紀から14世紀にタイ族最初の王朝がこの地に栄え、タイ式建築初期の例証ともいえる数多くの素晴らしい遺跡が残されました。この偉大な文明社会は周辺から様々な要素を吸収しつつ地元の伝統文化を織り交ぜ、「スコータイ様式」と呼ばれる文化を築きました。

T-3：古都アユタヤと周辺の古都
スコータイ王朝の後、2番目の王朝として1350年ごろからビルマ軍に侵攻されて18世紀末で栄えました。仏塔や巨大な僧院などの遺跡から、当時の華やかさが偲ばれます。

T-4：バン・チェン遺跡
東南アジアで発見されている先史時代の居住遺跡の中でも非常に重要なもので、人類の文化的・社会的・技術的発展を示しています。この遺跡には、この地域で農業が営まれ、また金属器が作られ使用されていた最古の証拠が見られます。

T-5：ドンパヤイ・エン―カオヤイ自然地帯
東はカンボジア国境近くのタブラヤ国立公園から西はカオヤイ国立公園まで、230キロに連る森林地帯です。起伏の多い山岳地帯で、24種の絶滅危惧種を含む800種以上の動物が生息しています。絶滅の危機に瀕している種が生息する重要な熱帯雨林の生態系を保護する重要な地域です。

ベトナム

V-1：フエの建造物群
1802年にベトナムの首都となったフエは、1945年まで阮（グエン）王朝の政治、文化、宗教の中心でした。ゆったりと流れるフォン川が、フエの美しさをより印象的にしています。

V-2：古都ホイアン
15世紀から19世紀に栄えた東南アジア貿易港のなかでも非常によく保存された町です。建物や街並みには国内外の影響が見受けられ、すばらしい雰囲気をつくっています。朱印船貿易が盛んだった頃には日本人町が形成され、16世紀末には日本橋が架けられました。

V-3：ハロン湾
トンキン湾に位置するハロン湾は、大小1,600ほどの無人の島々が石灰岩の柱のように海から突き出し、壮大な眺めを作り出しています。

V-4：ミーソン聖域
4世紀から13世紀にかけて、現在のベトナムの海岸部に、インドのヒンドゥー教の影響を受けた独自の文化が開花しました。長い間チャンパ王国の政治的・宗教的中心だったこの地には、その文化の残した素晴らしい寺院の跡などがあります。

V-5：フォンニャー・ケーバン国立公園
古生代（約400万年前）より発達したアジア地域最古の主要カルスト地形です。大規模な地殻変動を経て、重要な地形的特徴をあらわした複雑な景観が見られます。ラオス国境にまで続くこの広大な地域には65kmにもわたる洞窟や地底川などがあります。

V-6：タンロン遺跡
タンロン遺跡は、旧ハノイ城跡周辺とタンロン城跡をあわせた地域で、7世紀から19世紀頃にハノイの行政中心地でした。ベトナム最初の長期王朝を築いた李大祖が1一れたことから、都をタンロン（昇龍）と名付けたことに由来します。

V-7：ホー王朝の城壁
風水の原理によって建てられた14世紀ホー（胡）王朝時代の城壁は、14世紀後半のベトナムにおける歴史の歴程と、その東アジアへの広がりを物語っています。風水の原理によって、マーリ上ブオイ川の間の平野、トゥオン山とドン山の交わる景光明媚な場所に位置しています。

V-8：チャンアン名勝・遺跡群
自然・文化の複合遺産としての登録です。石灰岩でできたカルスト地形の壮大な景観で、ほぼ垂直の崖に囲まれた浪谷が広がっています。点在する洞窟を探索すると、3万年に遡る人類の活動の形跡の観察ができます。

バガン

ピュー時代の古都群

古都スコータイ

古都アユタヤ

プレアヴィヒア寺院

アンコール遺跡群

コモド国立公園

スマトラの熱帯雨林

国際機関 日本アセアンセンター
（東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター）
www.asean.or.jp

ASEAN（東南アジア諸国連合）とは・・・

ASEANとは、東南アジア地域の国々が加盟する地域協力機構です。1967年8月に「ASEAN設立宣言（通称バンコク宣言）」に基づき、地域の平和と安定や経済成長の促進を目的として設立されました。当初の加盟国は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国でしたが、その後、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー及びカンボジアが順次加盟し、現在は10カ国で構成されています。

ASEANの最高意思決定機関は、首脳会議「ASEANサミット」です。また、ASEANでは分野別の閣僚会議や委員会も開かれ、一年を通し様々な分野において、政策協議が行われています。

ASEAN事務局はインドネシアのジャカルタに設置されており、機構内の会議・委員会等の調整・効率化を担い、様々な事業を実施しています。

日本アセアンセンターとは…

日本アセアンセンターは1981年に、当時のASEAN加盟国政府（5カ国）及び日本政府が署名した協定により設立されました。後にブルネイ（1990年）、ベトナム（1998年）、カンボジア（2001年）、ラオス（2002年）、ミャンマー（2006年）が協定に加盟し、現在はASEAN全10カ国と日本、合わせて11カ国がメンバー国になっています。

日本アセアンセンターは、日本とASEAN諸国間の貿易・投資・観光・人物交流の4分野における経済パートナーシップの強化を目的として活動しています。

観光交流クラスターでは下記業務を行っています。どうぞお気軽にご利用ください。

- ■ ASEAN諸国の観光従事者に対する人材育成事業
- ■ 観光一般のご案内
- ■ 各種印刷物の発行と配布
- ■ セミナーやイベントの開催
- ■ オンライン画像提供サービス
- ■ 人物交流の促進を目的とした事業

セミナーやイベントのご案内をメールマガジンで配信しています。
日本アセアンセンターのウェブサイトからご登録ください。

ASEAN-JAPAN CENTRE
国際機関日本アセアンセンター
（東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター）
住所:〒105-0004　東京都港区新橋6-17-19　新御成門ビル1階
TEL:03-5402-8008／FAX:03-5402-8009
URL: www.asean.or.jp
業務時間:月～金　9:30-17:30
（土日・祝日・年末年始はお休みです）
facebook　instagram

編集・発行:国際機関日本アセアンセンター（東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター）

©2019 ASEAN-JAPAN CENTRE TE-071909　非売品（無断転載・複製を禁ず）

※このパンフレットはASEAN事務局2001年発行のASEAN地図をもとに日本アセアンセンターが編集・改訂したものです。地図の版権はASEAN事務局（インドネシア・ジャカルタ）にあります。
※このパンフレットは2019年9月現在の情報に基づいて編集されています。
最新情報は各関連機関にご確認ください。
※各国のビザ情報は、日本国籍の方を対象としたものです。
国籍によって条件が異なる場合がありますので、詳細は各関連機関にご確認ください。